

**製品名: メットウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21182**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:156kD;Observed MW:170kD

**抗原情報**

遺伝子名	MET
別名	MET;Hepatocyte growth factor receptor;HGF receptor;HGF/SF receptor;Proto-oncogene c-Met;Scatter factor receptor;SF receptor;Tyrosine-protein kinase Met
遺伝子 ID	4233.0
SwissProt ID	P08581
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

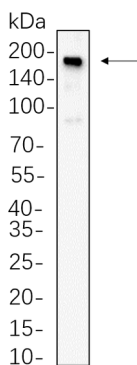
**背景**

細胞局在: 分泌型。この遺伝子は、受容体チロシンキナーゼファミリータンパク質のメンバーであり、プロトオンコジーン MET の産物である。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって  $\alpha$  サブユニットと  $\beta$  サブユニットに分解され、ジスルフィド結合を介して結合して成熟受容体を形成する。 $\beta$  サブユニットのさらなる処理により、肺線維症を軽減することが示されている M10 ペプチドが形成される。そのリガンドである肝細胞増殖因子の結合は、受容体の二量体化と活性化を誘導し、細胞生存、胚発生、細胞の移動および浸潤に関与する。この遺伝子の変異は、乳頭状腎細胞癌、肝細胞癌、および様々な頭頸部癌と関連している。この遺伝子の増幅および過剰発現は、複数のヒト癌とも関連している。[RefSeq 提供、2016 年 5 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



C6 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を Met ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L) 抗体を用いた。